

< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	ナイトウメディックス株式会社	事業所名	看護小規模多機能えんじゅ
所在地	(〒675-2223) 加西市三口町1257-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・医療ニーズに合わせた医療処置の必要な利用者の受け入れ(通い・訪問)
- ・ターミナル期の利用者の受け入れ(自宅または事業所での看取り)、ACP(アドバンスケアプランニング)の説明と資料提供
- ・利用者の当日の体調に合わせた柔軟なサービスの変更(通い・泊り・訪問)の通いの受け入れ
- ・家族等の都合による柔軟な泊りサービスの受け入れ(空があれば当日でも泊り可)、サービスの変更に伴う訪問への切り替えや昼食等の配達
- ・感染症対策を講じながらの利用者への面会の実施、見学者や実習生の受け入れ
- ・兵庫県の避難行動要支援者のための個別支援計画(マイプラン)の説明と資料提供、希望者には計画の作成の支援
- ・居宅介護支援事業書からのやむを得ない事情がある場合の短期利用サービスの受け入れ

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 <u>2024年4月1日～4月15日</u>	従業者等自己評価 実施人数	(18)人
----------------	---------------------------	------------------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 <u>2024年5月15日(水)</u>	出席人数(合計)	(9)人
出席者(内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員(2 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員(1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者(3 人) <input type="checkbox"/> 利用者(人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者(2 人) <input type="checkbox"/> その他(人)		

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>(外部評価よりいただいた内容を記載します)</p> <p>(1)看取り看護、その家族看護まで実践されているため、よくできていると考える。</p> <p>(2)夜間吸引ができるようであれば、看護小規模の役割でなおよいと思われる。</p> <p>(4)伝達講習もされているため、おおよそできていると考える。</p> <p>(10)災害対策も常に対応を検討されており、消防署との連携もされ、おおよそできていると考える。</p> <p>(10)災害対策については、地域で実施しながら周知していきたいので、三口町でも該当する方があれば、ぜひ開催にむけて検討していただきたい。</p> <p>(10)今後町内の地域防災計画作成時には連絡をとり合い、作成のための協力をお願いします。</p>	<p>(その上で次年度の改善に向けた計画を記載します)</p> <p>1. 夜間吸引を実施するためには、夜勤に入る介護職員全員が、兵庫県の喀痰吸引(第2号)研修を9日間受講し、試験に合格した後に演習を受ける必要があり、最短でも合計11日間かかる。現状の夜勤者は6人で交代勤務(うち4人が常勤で2人が非常勤)であるため、受講するためには代替えの夜勤者を一時的に確保する必要がある。また、非常勤職員は他法人での業務があるため、喀痰吸引(第2号)研修の受講が困難であるため、既に喀痰吸引(第2号)研修修了者を募集していく。</p> <p>2. 災害対策については、地域的に発生可能性がある災害を想定し、研修およびシュミレーションや避難訓練を実施していく。合わせて地域との連携や避難所を開設する保険者とも協議して、実効性のある取り組みを実施していく。同時に地域の災害対策としては、地域にある事業所と連携を図り、要援護者の一時避難の受入ができる体制作りを検討していく。</p> <p>3. 消防署との連携については、夜間帯の想定をして限られた職員で泊り利用者の避難誘導が安全に行えるように応援体制や地域との連携を具体的に進めていく必要がある。</p>
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>(13)院内カンファレンス時でも、本人や家族の思いを確認しながら、支援されるので、できていると考える。</p> <p>(16)多職種でカンファレンスに参加していただいているため、常に話し合いも行われている。おおよそできていると考える。</p> <p>(20)多職種でカンファレンスに参加していただいているため、常に話し合いも行われている。おおよそできていると考える。</p>	<p>1. 利用者の心身状態や取り巻く環境にも考慮しながら、在宅での生活が継続できるように、地域の皆様からいただいた情報も踏まえて、多機能サービスとして具体的に地域課題の解決に向けて、できる事を考えて取り組んでいく必要がある。</p>

	(22)家族に施設内見学も進められ、時間をとってサービス内容を説明されている。できていると考える。	
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	(28)病院内で多職種カンファレンスに参加していただいている。話し合いも行われている。おおよそできていると考える。 (31)毎回、運営推進会議で最新の情報等を資料を添えて提供いただき勉強させて頂いています。	1. 地域密着型サービス事業所として、地域や関係機関の皆様へ役に立つ情報提供を継続していく。 2. 地域の皆様からいただいた情報をもとに、解決に向けた取り組みが少しでも前進するように関係機関の皆様へ情報共有し、地域支援事業などに積極的に協力していく。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	(32)「地域に向けた積極的な情報の発信」としての「具体的な状況・取組内容」としては、ホームページでの公開が該当するのではないかと思います。ホームページは自分から情報を見に行く必要がありますので、より多くの方の目に触れるような情報発信方法をご検討いただければと思います。 (32)地域での三世代交流や生き生きなどにサービス事業所さんからも参加してもらおう事であれば、負担にならないと思う。できる事は協力させてもらいたい。 (33)地域から区長・老人クラブ会長・民生委員と地域の三役の方が揃って参加されるところは貴重な機会なので、地域の方と事業所が連携してより一層特徴を活かせるように地域の方にもご尽力いただき、地域住民と連動できる仕組みがあれば良いと思う。 (33)下里地区全体で地域と地域密着型サービス事業所が連携していけると良い。 (34)非常に難しいですね、介護報酬改定があり、給与面や各種条件で求人が難しいのですが、引き続き、がんばって下さい。 (35)夜間吸引ができる施設であることが、看護小規模施設の特徴と思われるため、改善を希望する。 (35)施設内での体制づくり、大変だと思いますが、がんばって	1. 地域に向けた情報発信の方法として、ホームページ等すでにある広報・啓発の方法以外に、より地域の皆様に伝わる方法を地域の皆様と共に事業所からの一方的な発信ではなく、コミュニケーションが図れる手段や方法を検討していく。 2. 地域の行事やイベント等が実施・再開されていく機会に合わせて、地域密着型サービスとして参加・協力させていただけるように主催者等の皆様へ依頼をしていく。 3. 下里地区のサービス事業所とも連携し、地域課題に対して専門職ができる支援や役割を発信していけるように話し合いの場を設ける。 4. 地域の方が気軽に相談できる近くの窓口として、関係者の協力を得ながら周知していき、身近なところから分かりやすく情報提供していく機会が増えるような取り組みを行う。

	<p>下さい。</p> <p>(40)運営推進会議は今後も続いていく中で、除々にでも、できていくと思います。</p> <p>(40)運営推進会議で最新の情報等を資料を添えて提供いただき勉強させて頂いています。</p> <p>(40)地域課題の提起とそれに対する改善策を提案いただいています。</p> <p>(41)下里校区の民生委員さんには、いつでも相談にのってくれることをPRしておきます。</p> <p>(40・41)地域の中の事業所として発信できることがあれば、地区内のネットワークを活用して広報・啓発（チラシ等）は可能ですのでご活用いただきたい。</p>	
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>(42)利用者ごとに違うと思うが、引き続き頑張っていたきたい。</p> <p>(43)医療的なケアが必要になると自宅では難しいと思うが、それでも頑張っている家族の支援をお願いします。</p>	<p>1. 個々の利用者に合わせた支援が提供できるように、ご家族や地域の皆様にも協力を得ながら、住み慣れた自宅で長く暮らせるように多機能サービスとして柔軟に対応していく。</p> <p>2. 自宅でも医療的ケア等が受けられるように、24時間365日対応できる看護・介護職員師の人員確保に向けて職員を募集していく。</p>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	8	9	1	0	看取り看護、その家族看護まで実践されているため、よくできていると考える。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	7	8	3	0	夜間吸引ができるようであれば、看護小規模の役割でなおよいと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	8	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	9	4	1	伝達講習もされているため、おおよそできていると考える。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	10	8	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	4	8	6	0		✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議でいただいた意見や要望については、議事録等をラインワークスにて確認できるようにし、具体的な検討事項等は週例ミーティングで情報共有している。また、誰もがいつでも見れるようにホームページに掲載している。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	4	10	4	0		✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 人事管理システムの導入、ハラスメント対策の強化として外部相談窓口を設置、メンタルヘルスの外部相談窓口を設置している。カスタマーハラスメント対策として、兵庫県作成のパンフレットを家族全員へ配布している。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、	5	13	0	0		✓ 「情報の随時の更新」と「職員間

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	[具体的な状況・取組内容] 情報共有ツール・ラインワークスやミーティング、毎日の申し送り等で共有できるようにしている。					で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	11	3	0		✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	8	7	0	災害対策も常に対応を検討されており、消防署との連携もされ、おおよそできていると考える。 今後町内の地域防災計画作成時には連絡をとり合い、作成のための協力をお願いします。 災害対策については、地域で実施しながら周知していき	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						いので、三口町でも該当する方があれば、ぜひ開催にむけて検討していただきたい。	
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	5	8	5	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	5	12	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	5	12	1	0	院内カンファレンス時でも、本人や家族の思いを確認しながら、支援されるので、できていると考える。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	6	11	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	7	11	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	8	9	1	0	多職種でカンファレンスに参加していただいているため、常に話し合いも行われている。おおよそできていると考える。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 定期的にあセスメントを行い、介護・看護職員と情報共有しながら計画に反映するように努めている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	5	8	5	0	[具体的な状況・取組内容] 登録定員や通い・泊りの定員の範囲内で、介護度や家族の状況に応じた利用頻度になるように調整し、必要に応じて訪問を組み合わせている。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	8	8	2	0	計画期間に合わせて、達成状況をケアマネ・介護・看護等で確認し、指示書のある主治医にも報告している。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ	8	10	0	0		✓ 「介護職と看護職の専門性を活

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きていな い	全く できてい ない		
	の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が 行われている	[具体的な状況・取組内容] 介護職と看護職の業務において、お互いに 協力し合い、柔軟な対応ができるように努 めている。					かした役割分担」について、充足 度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護で は、効果的・効率的なサービス提 供のために、各々の専門性を活か した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うこ とが重要です
20	○ 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情 報を共有し対応策を検討す るなど、両職種間の連携が 行われている	8	12	0	0	多職種でカンファレンスに参 加していただいているため、 常に話し合いも行われてい る。おおよそできていると考 える。	✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	8	10	0	0	[具体的な状況・取組内容] 利用者の心身状態について、看護職から 日々の状況変化も含めて看護師より毎日 情報提供が行われている。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴	8	9	1	0	家族に施設内見学も進めら	✓ 「利用者等の理解」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> パンフレットや重要事項説明書、料金表にてわかりやすく説明を心がけている。出来る限り事業所の見学もしていただき、イメージができるように努めている。				れ、時間をとってサービス内容を説明されている。できていると考える。	足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	8	3	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 居宅サービス計画、看護小規模多機能計画、看護計画等に具体的にわかりやすく記載して、家族も同席していただき、説明・同意をいただいている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	7	9	2	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 主治医の指示のもとで、看護師より医療処置や医療機器の取り扱い方法について説明している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	9	8	1	0		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者本人が意思の決定・表示ができない場合は、同居家族やキーパーソン等から本人の希望や意向を確認しながらサー					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		ビスの提供している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	8	7	3	0		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者・家族と在宅生活の継続するための条件を事前に確認し、暮らす場所や方法を選択できるようにしている。その上で、必要に応じて入所できる施設についての相談も受け、情報提供している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	9	7	2	0		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看取りのパンフレットは作成して説明をし、利用者・家族の想いや意向を反映できるようにケアに活かそうと努めている。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	8	8	2	0	病院内で多職種カンファレンスに参加していただいている。話し合いも行われている。おおよそできていると考える。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院カンファレンスや主治医から家族への説明時に同席し、利用者・家族の在宅に向けた支援に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	11	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> サービス開始前や退院時等に確認するように努めている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4	11	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> かかりつけ医の休日夜間の体制を確認し、必要に応じて医師会の休日の当番や救急の受け入れ先の確認をしている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括	7	6	3	2	毎回運営推進会議で最新の情報等を資料を添えて提供いただき勉強させて頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 運営推進会議で情報提供に努めている。その内容や資料を職員にもラインワークスで共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている						<p>検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	6	5	6	1	<p>「地域に向けた積極的な情報の発信」としての「具体的な状況・取組内容」としては、ホームページでの公開が該当するのではないかと思います。ホームページは自分から情報を見に行く必要がありますので、より多くの方の目に触れるような情報発信方法をご検討いただければと思います。</p> <p>地域での三世代交流や生き生きなどにサービス事業所さんからも参加してもらう事</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						であれば、負担にならないと思う。できる事は協力させてもらいたい。	
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	3	4	8	3	<p>地域から区長・老人クラブ会長・民生委員と地域の三役の方が揃って参加されることは貴重な機会なので、地域の方と事業所が連携してより一層特徴を活かせるように地域の方にもご尽力いただき、地域住民と連動できる仕組みがあれば良いと思う。</p> <p>下里地区全体で地域と地域密着型サービス事業所が連携していけると良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	0	6	12	<p>非常に難しいですね、介護報酬改定があり、給与面や各種条件で求人が難しいのですが、引き続き、がんばって下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		③ オンコール（24時間）対応ができる					看護」を実施してない場合、 「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	1	3	8	4	夜間吸引ができる施設である ことが、看護小規模施設の 特徴と思われるため、改善を 希望する。 施設内での体制づくり、大変 だと思いますが、がんばって 下さい。	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	0	1	5	12		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とす	4	7	7	0		✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] 現状の看護体制から、既存の利用者は看取りを前提とした対応に努めている。新規の利用者については、心身状態や夜間の泊り時は看護師が不在となるため、その範囲内で対応に努めている。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します	
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解								
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	4	6	8	0		[具体的な状況・取組内容] 地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について、ラインワークスで確認できるようにしているが、パート職員では具体的に把握できていない職員もいる。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開								
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	7	6	4	1		[具体的な状況・取組内容] 特定の集合住宅の利用者はなく、すべて地域にお住まいの方を対象にしている。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
							える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	3	4	7	4	<p>運営推進会議は今後も続いていく中で、除々にでも、できていくと思います。</p> <p>毎回運営推進会議で最新の情報等を資料を添えて提供いただき勉強させて頂いています。</p> <p>地域課題の提起とそれに対する改善策を提案いただいています。</p> <p>地域の中の事業所として発信できることがあれば、地区内のネットワークを活用して広報・啓発（チラシ等）は可能ですのでご活用いただきたい。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対	2	4	10	2		✓ 「家族等や近隣住民に対する、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている	<p>[具体的な状況・取組内容] 利用者・家族に向けた取り組みは、随時行 っている。 近隣住民からは介護に関する相談はほとん どないが、介護に関する相談があれば対応 できる体制はできている。</p>				<p>下里校区の民生委員さん には、いつでも相談にのって くれることを PR しておき ます。 地域の中の事業所として発 信できることがあれば、地 区内のネットワークを活用し て広報・啓発（チラシ等）は 可能ですのでご活用いただ きたい。</p>	<p>介護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活 を支えていくための環境を整え ていくなどの役割も期待されま す</p> <p>✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【5】</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【10】</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている【3】</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない【0】</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者の計画に対して、達成状況を確認し、見直しをしている。ケアプランの見直しを短期目標期間ごとに評価して見直しを行っている。</p>	利用者ごとに違うと思うが、引き続き頑張っていたきたい。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【6】</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【8】</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている【4】</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない【0】</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者だけでなく家族に聞き取り、不安が軽減されるように、主治医と連携して助言するように努めている。専門用語が分かりにくかったり、予後の見通しが分からない家族に対して、丁寧に分かりやすく説明し</p>	医療的なケアが必要になると自宅では難しいと思うが、それでも頑張っている家族の支援をお願いします。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		ている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている【5】</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている【7】</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている【3】</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない【3】</p> <p>5. 看取りの希望者はいない【0】</p> <p>[具体的な状況・取組内容] 「看取り」については、不安が強く、病院や施設を希望される方も多いため、往診医やサービスができる事を分かりやすく伝えるように努めている。 その上で、在宅の看取りを希望されている利用者と家族に寄り添って、後悔のない最期を迎えられるように努めている。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>